



麻井 利昭 さん

「統計の日」の10月18日、農業経営統計調査に協力する養豚業の麻井利昭さんに、鹿野道彦農林水産大臣から感謝状が贈られた。

「統計局の調査に協力して6年くらい。表彰は思いがけないものでした」と笑う。



●プロフィール

あさい・としあき。昭和50年から養豚業を営む。平成18年に(株)麻井農場に法人化。平成18年から統計調査に協力。7人家族。田代地区。66歳

麻井さんが養豚業を始めたのは昭和50年。敷地数千平方メートルにハウス用パイプを組み上げ、豚舎を手作りした。現在、飼育豚約1千500頭以上、母豚130頭、種雄6頭などを養う。数年前に、(株)麻井農場の称号で法人化。妻・照代さんと、息子・勝利さんと3人で家族経営に切り替えた。その傍らで、統計局の定期的な訪問調査に快く応じている。

「隠すところは何もありませんが経営は大変です。そのことを少しでも分かっている」と表情を引き締める。リーマンショック以降、豚肉の枝価格が下がり取引価格は低迷。一方で飼料代は上がった。その影響からか、町内に20軒ほどあった養豚業も、今では2軒を数えるのみとなった。その逆境を乗り越え、「熊本りんどうポーク」と銘付けた豚肉で、ブランド化に力を入れる麻井さん。

「私も70歳近くになってきたですけど、息子に経営を任せていきたい。息子もやる気ばもつとるようですけん」と世代交代も視野に見据える。

奉仕の精神で調査に全面協力

農林水産大臣感謝状と総務大臣表彰状

10月18日、統計功績者の村上武士さんに川端達夫総務大臣から表彰状が贈られた。

「大臣表彰とは思ってもみませんでした。地域の理解と協力あつてのもの。感謝しています」と謙虚に喜ぶ。

村上さんは、平成22年国勢調査に調査員として協力。調査は、御船地区4丁目と5丁目を引き受け、約120件を徒歩で回った。一人暮らしや高齢者世帯も多い同調査区。内容を正確に伝え、聞き取り調査にも気軽に応じた。仕事で日中不在の家には夜間訪問や職場に赴いて、調査に対応したこともある。責任感と熱心な調査姿勢には頭が下がる。

「調査は勉強のつもりで引き受けました。結果は、国や県などの施策や計画に幅広く利用されますから」と答える。



●プロフィール

むらかみ・たけし。郵便局に39年間勤務。国勢調査や経済センサスなどに協力。平成23年4月から5丁目区長を務める。2人暮らし。御船地区。70歳



村上 武士 さん

上益城郡町対抗駅伝大会

新上益城路で御船が健闘の3位



第36回上益城郡町対抗駅伝大会は12月18日、御船町役場前スタート・益城町総合運動公園ゴールの8区間34・6キロで行われ、御船は3位入賞を果たした。

郡内最高峰の駅伝大会には7チーム56人のトップランナーが出場。今年から一新した上益城路で、たすきに気持ちを入れてつないだ。「プレッシャーもあった。とにかく前のランナーについていこうと思った」と話す、1区・増田晃大選手(御船中2年)。区間3位の走りでチームにリズムをつける。途中、甲佐Aに抜かれ、順位を一つ下げて中盤へと進む。

「たすきをもらった時、前のランナーが視界に入っていなかった。だけど、いい流れをつくりたかった」と語る、6区・米納美菜子選手(熊本商高1年)。持ち前のねばり強い走りで、益城Aと1分以上あった差を7区中継所直前でとらえ、区間2位の力走で3位へと押し上げる。しかし再び甲佐Aに逆転を許し、最終8区へと入る。

「3位とは70分差。いい位置でたすきが来た。諦めずに

無心で走った」と振り返る、8区・大場祐哉選手(ルネサス)。チーム最多7回目の出場を誇るベテランは、力走で甲佐Aを一気に抜さる。さらに2位の益城Aも視界にとらえ、勝負の行方は総合運動公園に。しかし、追い上げもわずかに及ばず、3位でゴールテープを切った。

今年からチームの指揮を執る山下直樹監督は「全員がレースに集中して、エース大場につないだ。地元の声援も選手の力になった。優勝からは7年遠ざかっている。来年こそは優勝旗を持ち帰りたい」と初采配を総括した。大会記録は次のとおり(敬称略)。

【総合】①山都A 1時間54分38秒 ②益城A 1時間56分9秒 ③御船 1時間56分25秒 ④甲佐A ⑤嘉島 ⑥益城B ⑦甲佐B

【個人】(区間・氏名・数字は総合と区間の順位)▽1区・増田晃大 ③▽2区・倉内雅比古 ③④▽3区・安田美紗希 ④⑥▽4区・瀧上大貴 ④②▽5区・高田凜太郎 ④⑤▽6区・米納美菜子 ③②▽7区・松永匡史 ④③▽8区・大場祐哉 ③①



チーム最年長で御船・嘉島間を走った2区・倉内雅比古選手



御船町役場前を一齐にスタートする1区・増田晃大選手(右3番目)



←御船を3位に導いた頼れるベテラン8区・大場祐哉選手。圧巻の走りて7年連続区間賞



→右から嘉島・甲佐間を走る3区・安田美紗希選手。甲佐・御船間を走る5区・高田凜太郎選手



カントリーエレベータ中継所前で甲佐Aをかわしたすきを握り締める6区・米納美菜子選手